



# 校長室だより

すべての子どもたちを大切にします    すべての子どもファーストです

長い夏休みが終わりました。今日から子どもたちのためにながらうと夏休み後半から学校全体で準備をしてきました。夏休み前半には学力向上や人権教育、その他の研修を行い、指導力や教師力をアップさせる取り組みを行いました。また自ら進んで研究会に出向いて学ぶ先生たちもいます。教師が主体的でなければ子どもも主体的にはなれないので校長としてはうれしく思っています。

さて、夏休みに入ってすぐに参議院選挙が行われ、自分の心が動かされる主張がメディアで取り上げられていました。外国から来た方々を排除しようという主張です。偏った「切り取られ方」をしているとはいえ、どう捉えたらいいのかと日々、考えさせられました。学校では多様性を認めることを人権教育の中心にすえて指導してきています。世の中には自分と違った立場、考え方の人がたくさんいて、その人たちと認め合いながら共存していく力が必要となります。もちろん学校にはみんな違う考え方の友達や保護者がいますし、外国にルーツをもつ友達も何人もいます。また身体的、発達のな障がいがある人や、家庭的に生きづらい人もいます。その人たちみんなが安心・安全に過ごせることを大切に、みんながよりよく成長できることを目指して教育活動を進めていくことを改めて教職員一同、心に刻み込んで日々、指導に当たっていきたくと思っています。

## 余暇のスマホ「1日2時間」条例に思うこと

愛知県・豊明市でスマホを制限する条例案が議会に提出されました。スマホやタブレット端末による過度な動画視聴などが、睡眠時間や家族との対話の時間の減少につながり、「特に子どもの健全育成を阻害するおそれがある」として制限をかけようとしています。賛否両論ある提案だと思いますが、私は「子どものスマホ依存を社会の問題としてとらえている」という点で良いなと思っています。子どもの生活リズムは大人が整えてあげる必要があると考えているからです。香川県では子どものゲーム利用時間の目安を定めた「ゲーム条例」を2020年から施行しています。スマホ利用についての家庭内のルール作りが足進されたようで啓発の効果が出ていると県は言っています。

現代は夜に活動することが多く、便利だったり長く楽しめたりと良い面が増えた半面、子どもにとっては生活リズムが崩れてしまいやすい環境にもなっています。先日、夜の11時ごろのスーパー銭湯で低学年くらいの男の子がスマホを両手で持って歩きながら壁に激突している姿を見ました。家族で帰るときに起こったことのように見えたが、まさに依存状態なのでは？と感じました。夜にしか家族で出かける時間がないのかもしれませんが、大人の時間に子どもをつき合わせるのはやめた方がよいなとあらためて思いました。

子どもたちに起こっている問題を社会の問題としてとらえることはとても大事だと思っています。河内長野市では子どもたちのいじめ問題に対応するために「(仮)こどもたちをいじめから守り悩みに寄り添う条例案」として市が取り組もうと考えているようです。子どもたちが安心して生活ができるように、社会全体として取り組めたらよいなと思っています。